

テ ニ ス

専門委員長 村 澤 宏 樹



まず今年1年を通じて大会運営を支えてくださった関係者の皆様、また練習等日々の指導をしてくださった顧問の先生方に深く感謝申し上げます。大変お世話になりました。本年度の大会

から試合進行を早めるために、すべての試合でサービスレットがなくなりました。毎年夏は厳しい暑さに悩まされ、インターハイでもヒートルールを適用しながらの大会運営となっています。県内大会では大きく体調を崩す生徒は見られませんでした。来年度以降も選手のことを考えた大会運営を行っていきたいと思います。

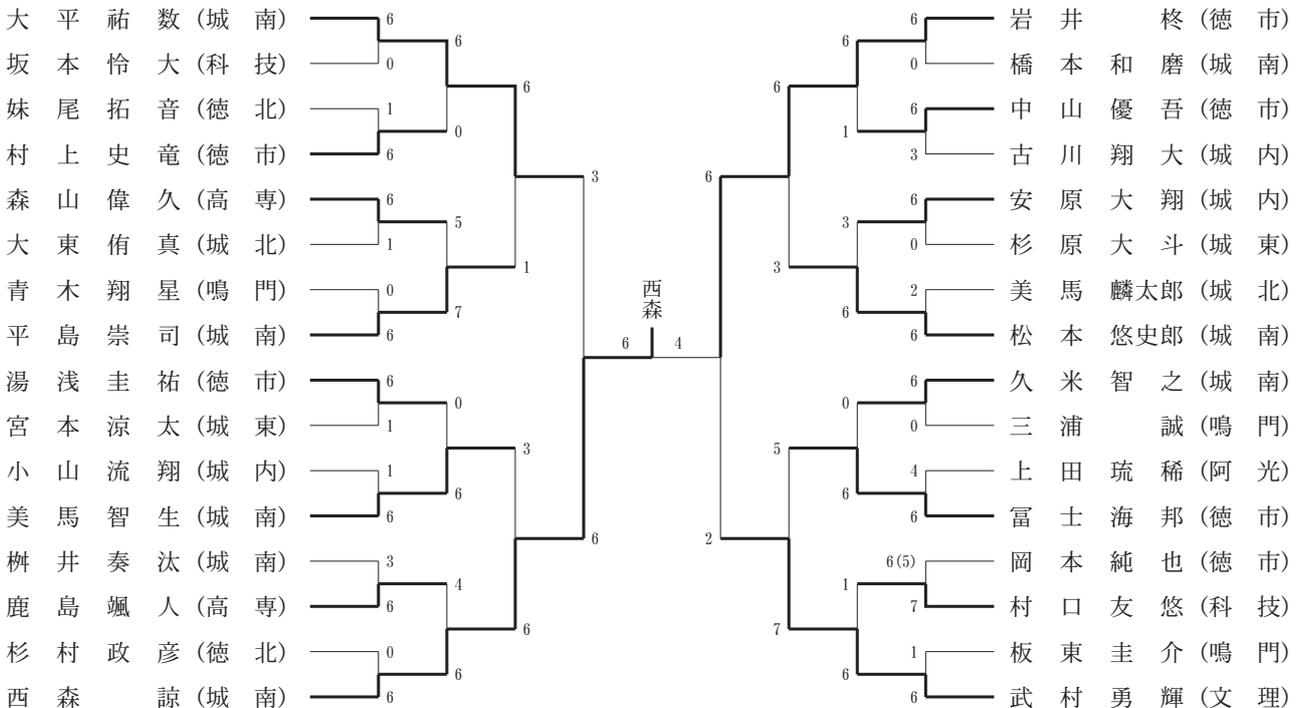
大会を振り返ると、県総体男子団体決勝の城南と徳島市立の試合は大接戦となり、僅かな差で勝利した城南が21連覇を達成しました。女子は3年生主体の徳島商業が安定した試合運びで7連覇を果たしました。男子シン

グルスは岩井選手（徳市）が県大会悲願の初優勝、ダブルスは美馬・榊井ペア（城南）が同校1年生ペアの勢いをおさえて優勝しました。女子シングルスは昨年と同じ顔合わせとなりました。中海選手（徳商）とのライバル対決を制した西森選手（城南）が優勝し、大会3連覇を果たしました。ダブルスは同校対決を制した中海・泉ペア（徳商）が昨年引き続き優勝し、大会2連覇を果たしました。四国選手権では、女子団体において徳島商業が準優勝、個人戦では女子シングルスで泉選手（徳商）が準優勝、女子ダブルスにおいて中海・泉ペア（徳商）が準優勝、西森・後藤田ペア（城南）がベスト4となり、女子の活躍が目立ちました。インターハイでは初戦を突破した種目もありましたが、昨年同様、全国の高い壁に阻まれる結果となりました。

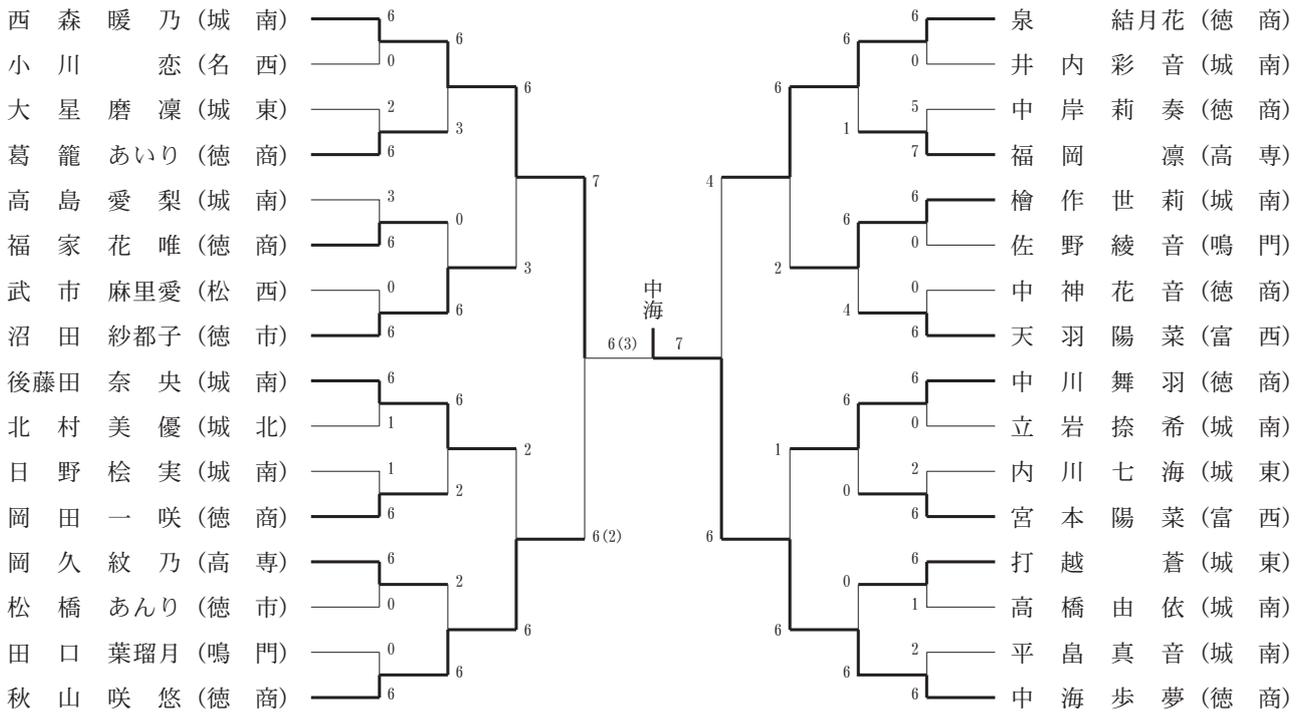
全国選抜県予選では、男子城南が6連覇、女子は徳島市立が13年ぶりの優勝となりました。選抜四国大会では男子城南が準優勝となり、3月に行われる全国選抜大会の選考委員会に推薦されることになりました。今後の活躍が期待されます。

◎県高校春季テニス大会 令 6. 3. 25～28 於 大神子病院しあわせの里テニスセンター

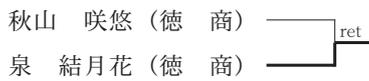
<男子シングルス> 本戦（ベスト32）より



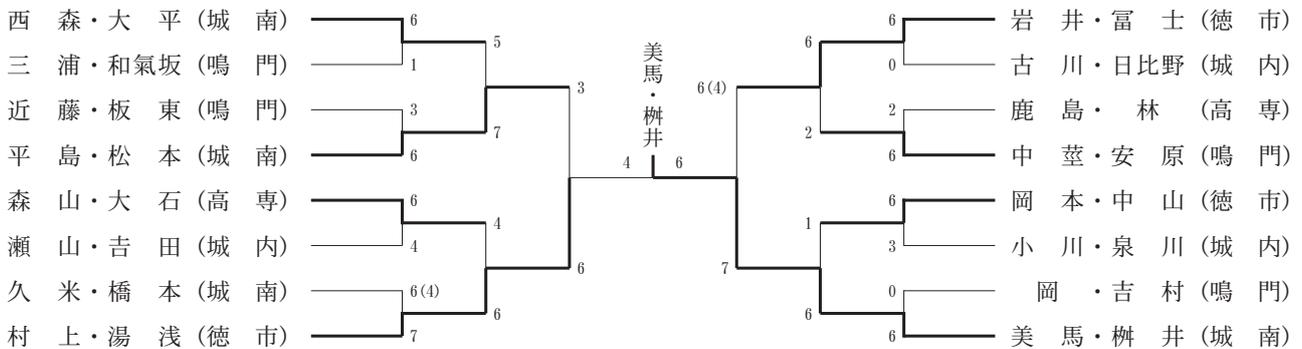
<女子シングルス> 本戦 (ベスト 32) より



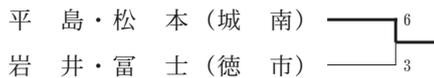
3位決定戦



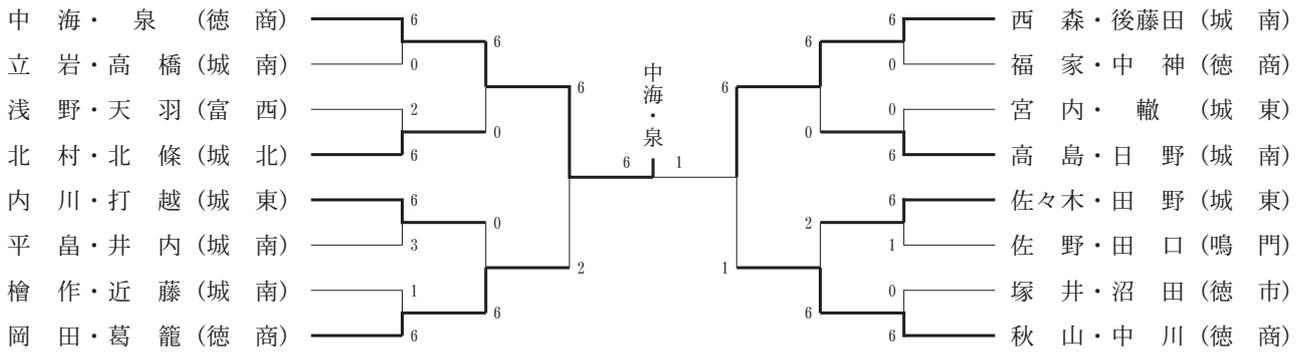
<男子ダブルス> 本戦 (ベスト 16) より



3位決定戦

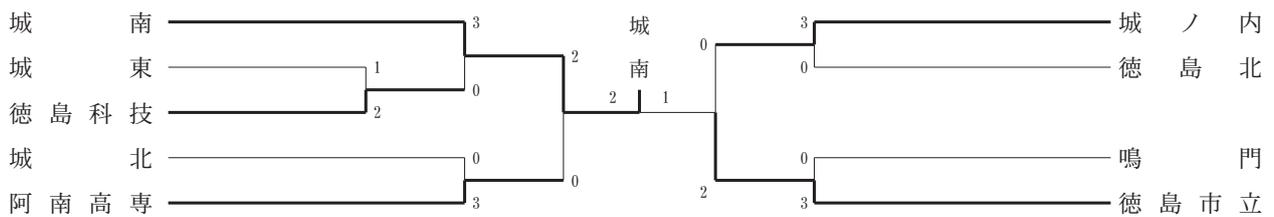


<女子ダブルス> 本戦（ベスト16）より



◎県高校総体 令 6. 5. 25、26、31、6. 1~3 於 大神子病院しあわせの里テニスセンター

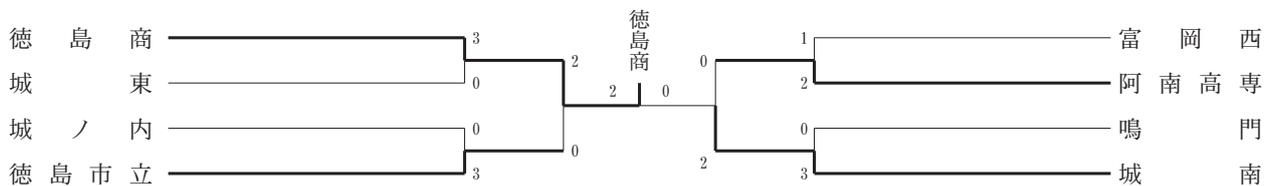
<男子団体>



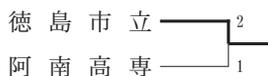
3位決定戦



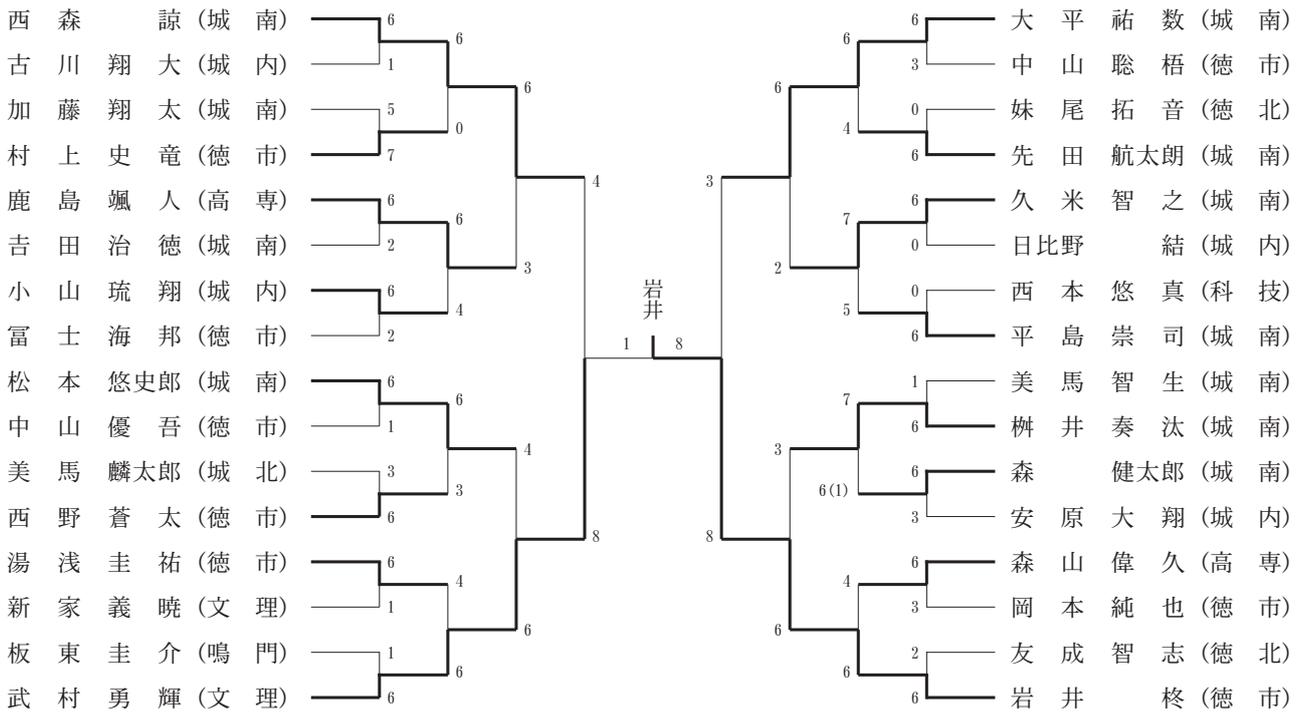
<女子団体>



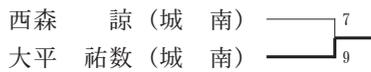
3位決定戦



<男子シングルス> 本戦 (ベスト 32) より



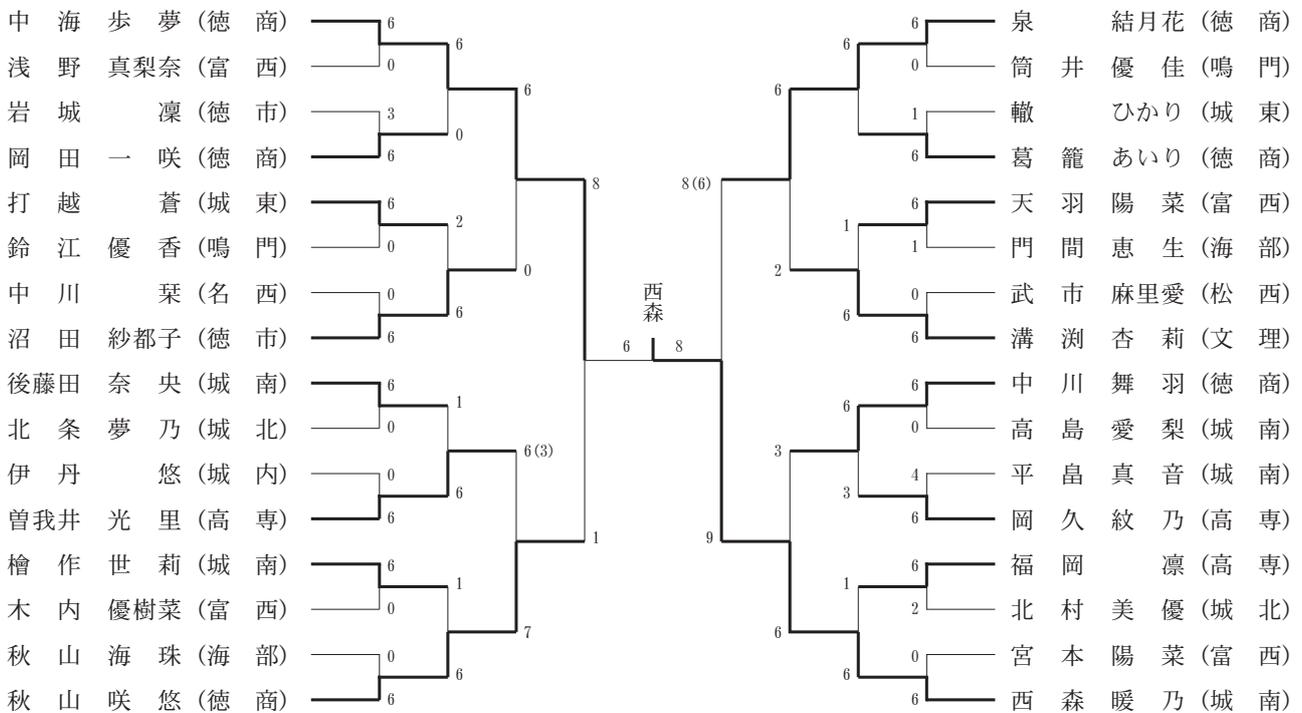
順位決定1回戦



2位決定戦



<女子シングルス> 本戦 (ベスト 32) より



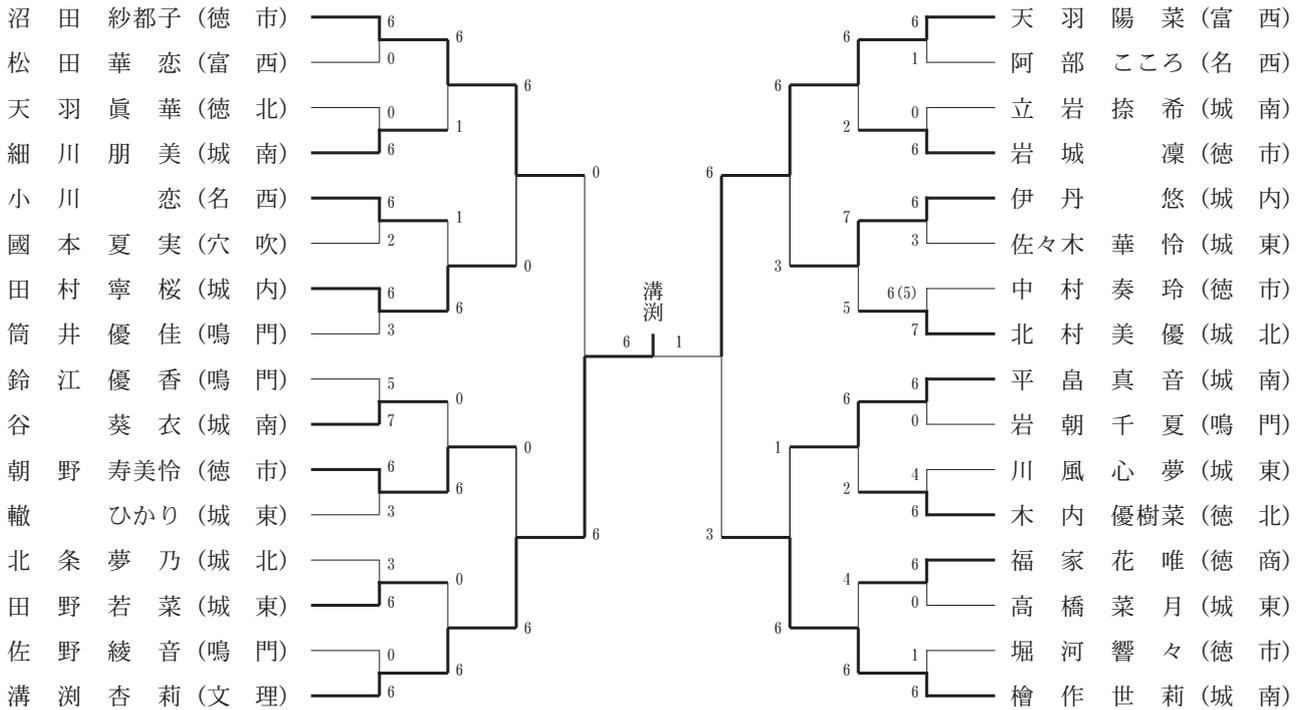
順位決定1回戦



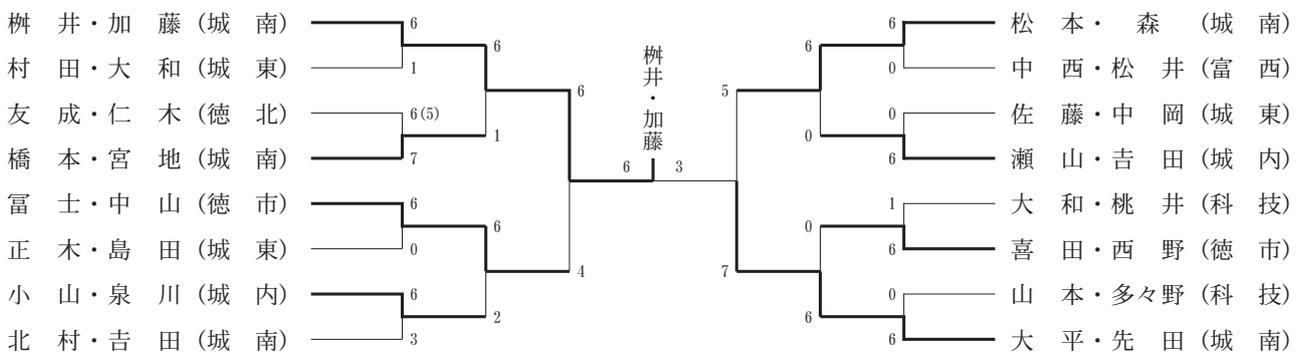
2位決定戦



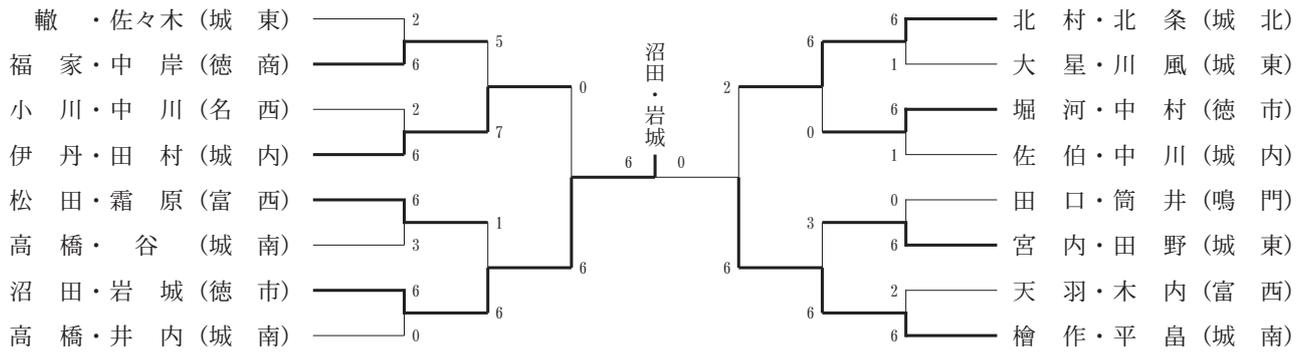
<女子シングルス> (2回戦より)



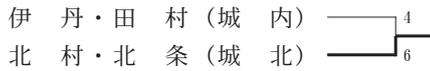
<男子ダブルス> (3回戦より)



<女子ダブルス> (2回戦より)

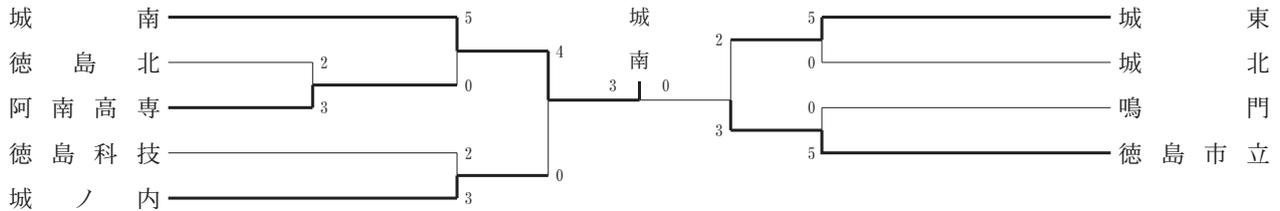


3位決定戦

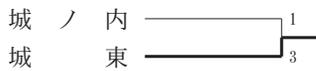


◎県高校新人兼全国選抜県予選 令 6. 10. 14、19、20、26、27 於 大神子病院しあわせの里テニスセンター

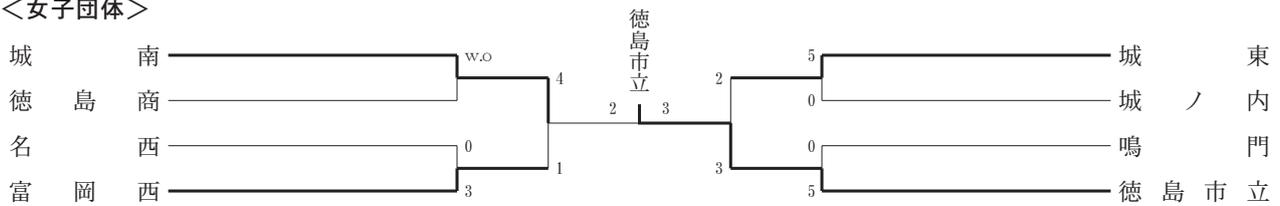
<男子団体>



3位決定戦



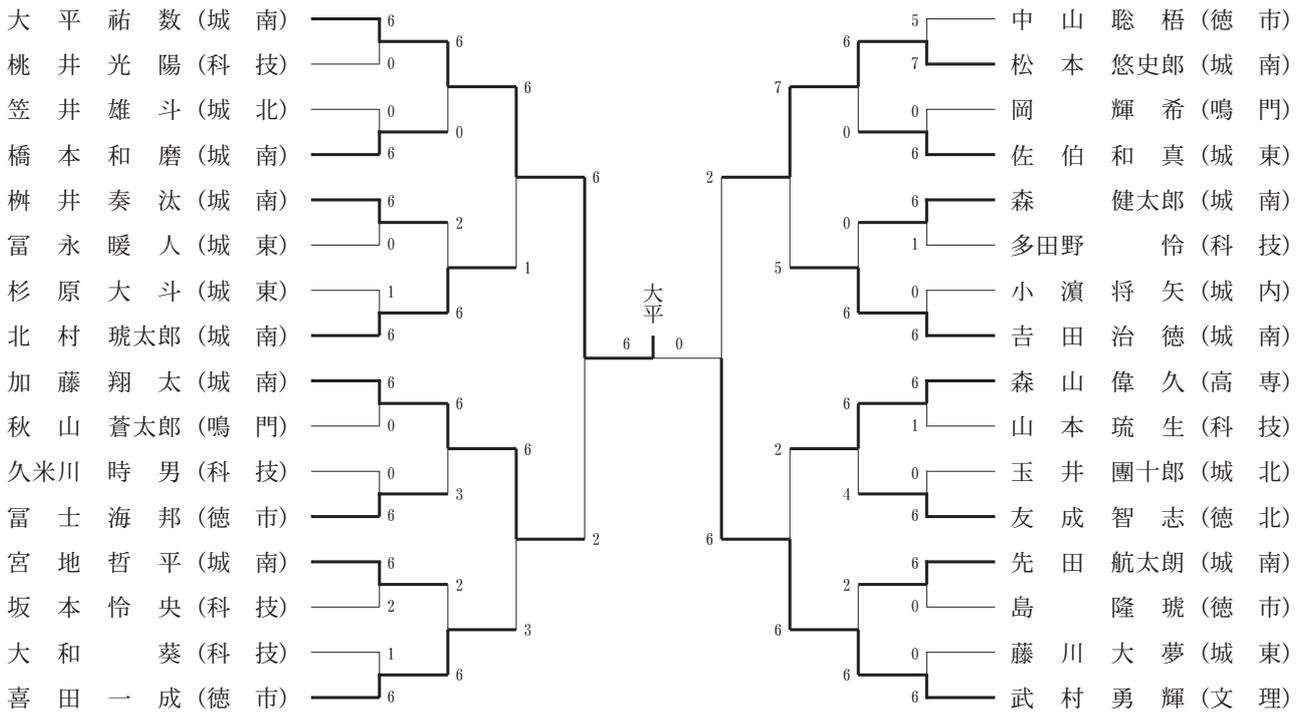
<女子団体>



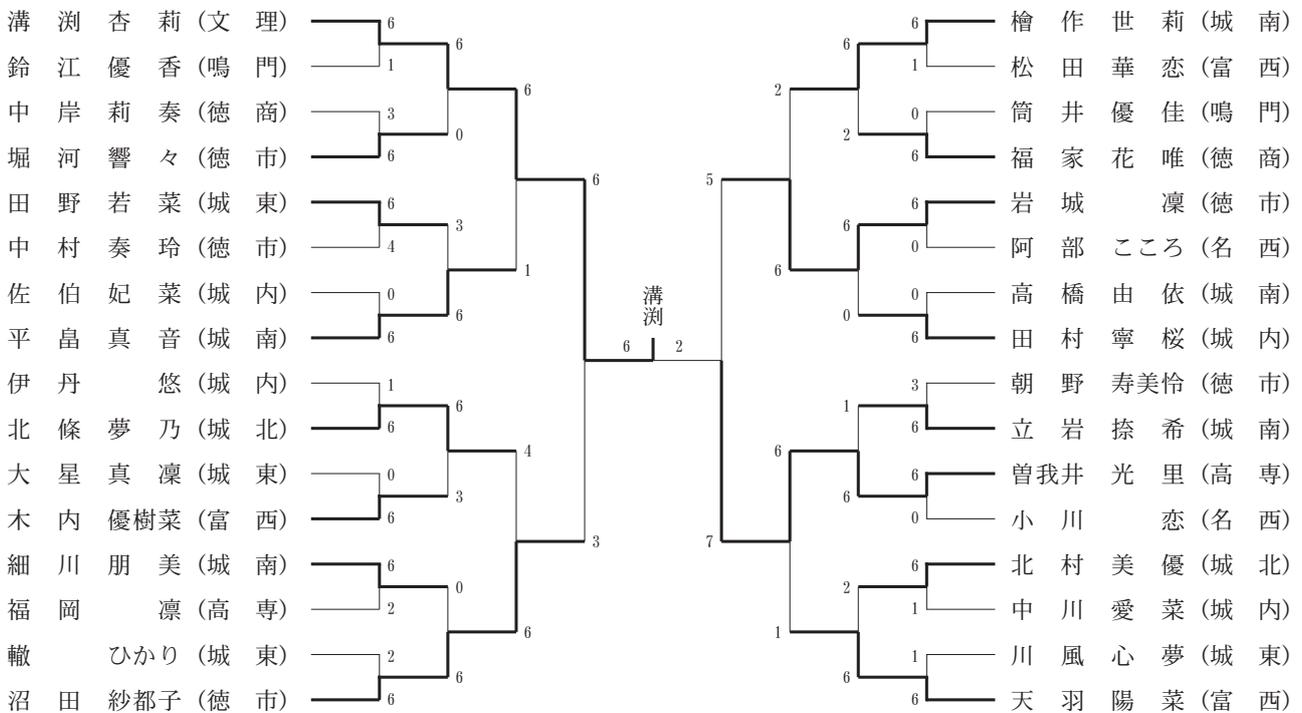
2位決定トーナメント



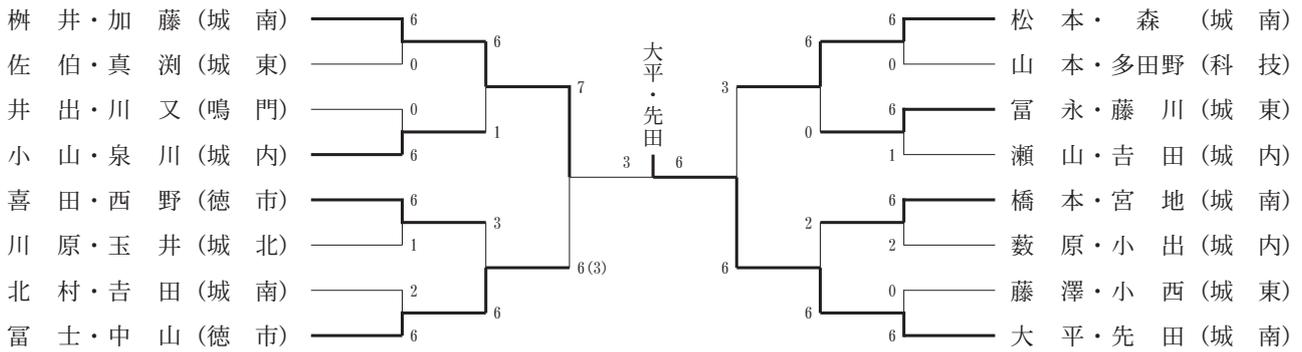
<男子シングルス> (3回戦より)



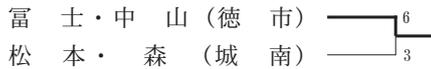
<女子シングルス> (2回戦より)



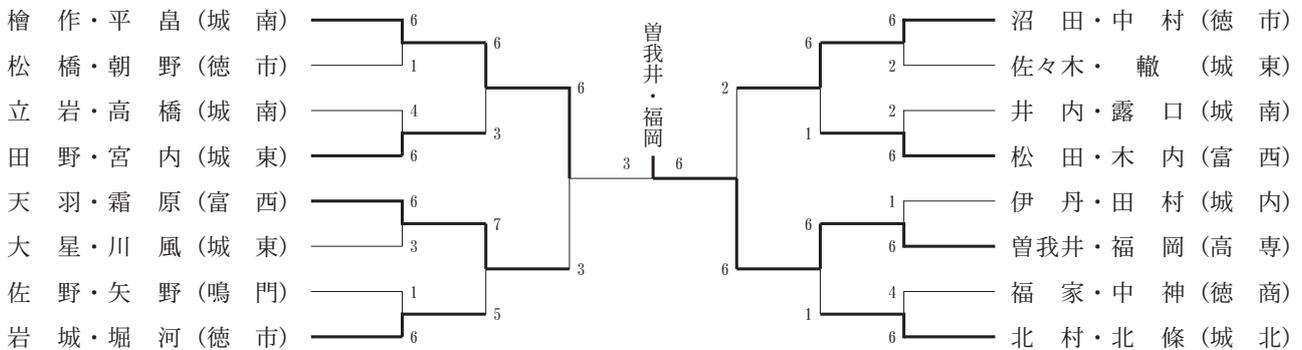
＜男子ダブルス＞（3回戦より）



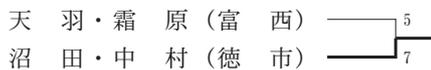
3位決定戦



＜女子ダブルス＞（2回戦より）

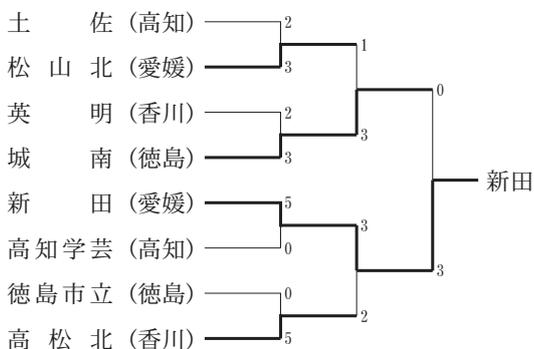


3位決定戦

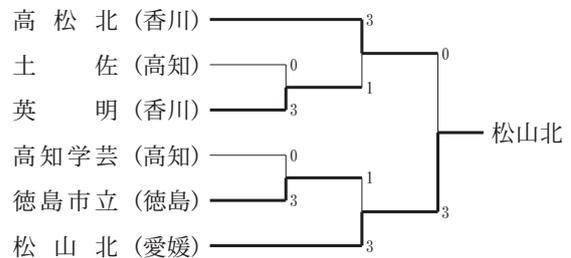


◎全国選抜高校テニス大会四国地区大会 令 6. 11. 15~17 於 松山中央公園テニスコート

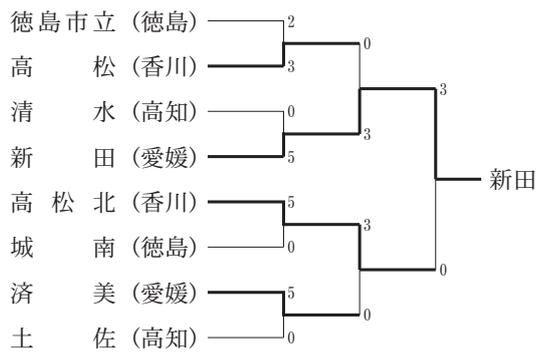
＜男子団体＞



順位決定戦



<女子団体>



順位決定戦

